

健康増進計画(健康はだの21)第4期計画

基本の方向性 II 健康維持向上のための生活習慣の改善と環境づくり(疾病予防と健康増進)										
取組分野 6 感染症										
評価指標	計画策定時	H30実績	R1実績	R2実績	R3実績	R4実績	目標値			
感染症に関する注意報、警報等の情報提供	100.0%	100.0%	100.0%	100%	100%		100%			
高齢者インフルエンザ予防接種の接種率の向上	43.2%	42.4%	45.0%	60.2%	50.4%		48%			
新型インフルエンザ等対応訓練の実施	年1回	年1回	年1回	—	—		年1回			
重点目標 <感染症の正しい知識の普及啓発>										
基本施策 ○感染症などについての正しい知識の普及啓発										
市の主な取組(事業名) 内容	目標値・実績値等	年度					実施状況及び成果等(R3)	AB CD	課題と今後の対策(方向性)	
		H30	R1	R2	R3	R4				
ア 普及啓発の実施	指標	HPの感染症情報更新数(回)					・情報が入り次第、随時、HP、緊急情報メールを活用し、市民に予防啓発等を実施するとともに、神奈川県が公表する市内の感染者数状況について、ホームページの掲載方法を工夫し、市民へよりわかりやすく、タイムリーに周知をした。 緊急情報メール(コロナ):5回	A	感染症の蔓延防止のため、より多くの市民に情報を提供するためにも緊急情報メールや市公式LINEを利用した情報発信を迅速に行っていく。	健康づくり課
目標:感染症に関する情報を市民が得る。 内容:感染症に関する情報を随時、ホームページで更新して発信	目標値	随時	随時	随時	随時	随時				
	実績値	10	17	14	16					
イ 普及啓発の実施(乳幼児等)	指標	4か月児健診で予防接種についての説明(4か月児健診受診率(%))					新生児訪問時には今後の予防接種のスケジュールについて説明し、さらに、全健診の問診時に予防接種や感染症予防について、確認し説明を実施。予防接種が進んでいない場合は診察医師からも必要性について説明している。	A	今後も感染症予防の必要性について、丁寧に説明し、感染症予防及び予防接種の接種率の向上に努める。	こども家庭支援課
目標:乳幼児がかかりやすい感染症やその予防に関する情報を市民が得る。 内容:新生児訪問や4か月児健診時個別面接や集団教育で実施	目標値	100	100	100	100	100				
	実績値	99.4	97.4	97.2	99.4					
基本施策 ○予防接種助成による感染症予防事業の実施										
市の主な取組(事業名) 内容	目標値・実績値等	年度					実施状況及び成果等(R3)	AB CD	課題と今後の対策(方向性)	
		H30	R1	R2	R3	R4				
ア 予防接種事業の実施										
a) 乳幼児から20歳未満の予防接種	指標	麻疹・風しん(混合・単独)(一期)ワクチンの接種率(%)					乳幼児健診における問診や各医療機関における接種勧奨により、接種率は高水準であった。 対象者数:849人、接種者数:821人	A	接種率向上のため、引き続き医療機関とも連携し、接種勧奨を行う。	こども家庭支援課
目的:疾病予防ができる。 内容:疾病予防のため予防接種法に基づく、乳幼児から20歳未満の予防接種を実施	目標値	100	100	100	100	100				
	実績値	94.3	93.0	90.4	96.7					
b) 65歳以上の季節性インフルエンザ予防接種	指標	ワクチン接種率(%)					市民の利便性等を考慮し、秦野伊勢原医師会、平塚市医師会、足柄上医師会だけでなく個別医療機関と契約することでワクチン接種率の向上を図った。新型コロナウイルス感染症の影響が、接種率は昨年引き続き高水準であった。	A	市民の多くが感染症対策を行い、インフルエンザの流行が収まっている中で、インフルエンザワクチン接種の重要性を再度を考え、必要な方が接種できる体制づくりを行う。	健康づくり課
目的:季節性インフルエンザ予防ができる。 内容:65歳以上の季節性インフルエンザ予防接種の実施	目標値	44.0	45.0	46.0	47.0	48.0				
	実績値	42.4	45.0	60.2	50.4					
c) 高齢者用肺炎球菌予防接種	指標	65歳のワクチン接種率(%)					市民の利便性等を考慮し、秦野伊勢原医師会、平塚市医師会、足柄上医師会だけでなく個別医療機関とも契約することでワクチン接種率の向上を図った。 経過措置は2019年3月末が期限だったが、全国的に接種率が伸びず、現行の取扱いを2023年度末まで5年間延長する方向になった。 (H29年度の接種率:48.4%)	A	肺炎の重症化予防のための肺炎球菌ワクチン接種について、新型コロナウイルスワクチンとの接種間隔も踏まえた周知を行うことで、接種しやすい体制づくり及び接種率の向上を図る。	健康づくり課
目的:肺炎予防ができる。 内容:高齢者肺炎球菌予防接種の実施	目標値	45.0	45.0	45.0	45.0	45.0				
	実績値	43.7	40.4	42.8	42.3					
基本施策 ○新型インフルエンザ及び新興感染症に関する情報収集と対応訓練の実施										
市の主な取組(事業名) 内容	目標値・実績値等	年度					実施状況及び成果等(R3)	AB CD	課題と今後の対策(方向性)	
		H30	R1	R2	R3	R4				
ア 危機管理体制の構築										
a) 平時からの新興感染症対策(情報収集)	指標	研修会や会議等への出席数(回)					・県及び医師会が主催する会議に参加し、関係機関と課題共有を図った。 ・対策本部会議(21回)へ出席し、各課との情報共有を図りながら、感染症の拡大防止のため、市民への周知に努めた。 ・令和2年度から開始した市内公民館等での除菌水(微酸性次亜塩素酸水)無償配布は継続しています。配布量9,992L(令和3年度) ・新型コロナウイルスワクチン集団接種の円滑な実施に向けて秦野市医師会、ワクチン接種推進課と協力し、集団接種に保健師も従事した。	A	引き続き、庁内関係各課や、県および医師会等の関係機関との連携を強化し、感染症対策を継続していく。	健康づくり課
目標:危機時に関係機関と連携協力できる関係を築く。 内容:平時からの新興感染症対策及び情報収集の実施	目標値	—	—	—	—	—				
	実績値	3	10	28	25					

